

都市局 平成30年度 局運営方針

1. 主な現状と課題

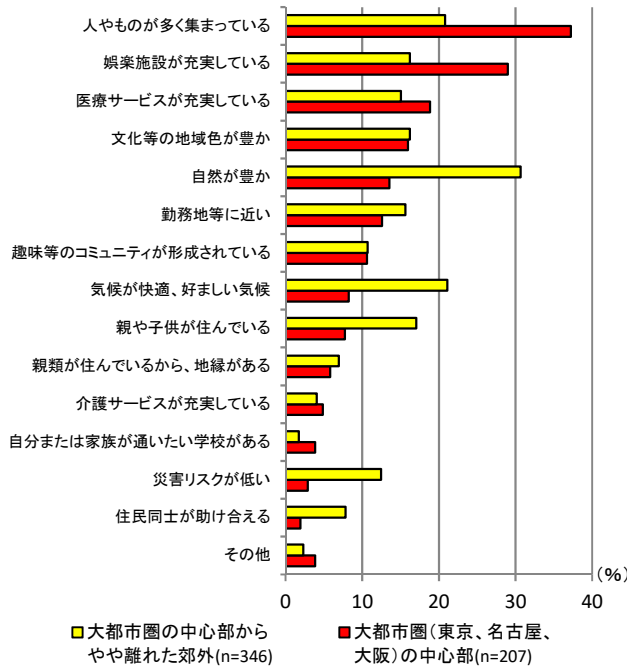
人口減少・少子高齢化、巨大災害の切迫等、国土を取り巻く状況の変化に対応するため、国では国土づくりの方向性を定める国土形成計画において、地域間のヒト、モノ、カネ、情報の活発な動きを生み出す「対流促進型国土」の形成を基本構想として示しています。

また、国土交通省が実施した「国民意識調査」によると、2050年の社会における居住地の選択で、大都市圏を希望する人の理由は、「人やものの集積」「娯楽施設や医療サービスの充実」などを挙げる人が比較的多いと指摘されています。

本市は、市街地が河川と緑地に囲まれた都市構造を有するとともに、集約・ネットワーク型都市構造の形成を目指しており、また、首都圏広域地方計画において、多種多様なヒト、モノが実際に集結して交流する対流拠点として東日本の玄関口機能を果たす役割と、首都直下地震の発災時には首都圏の機能をバックアップするための最前線としての役割が位置付けられています。

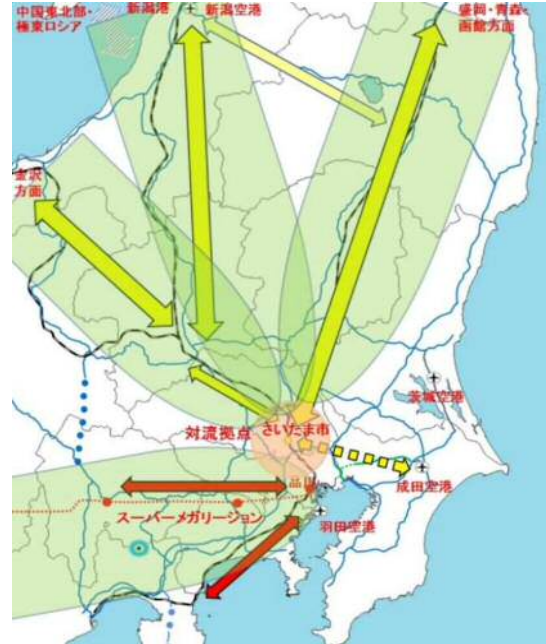
本市において、人々が望む暮らしや時代のニーズに応え、都市として成長を遂げていくためには、東日本の対流拠点としての位置付けを背景に、拠点機能の強化を図るとともに、これまで積み上げてきた既存ストックを活用し、「安全・安心の確保」「移動環境の向上」及び「快適で魅力ある生活空間の確保」に向けた取組を着実に推進していく必要があります。

居住地選択の理由



資料：国土交通省「国民意識調査」
 (「国土交通白書 2017データ」より作成)

東日本玄関口創出のイメージ



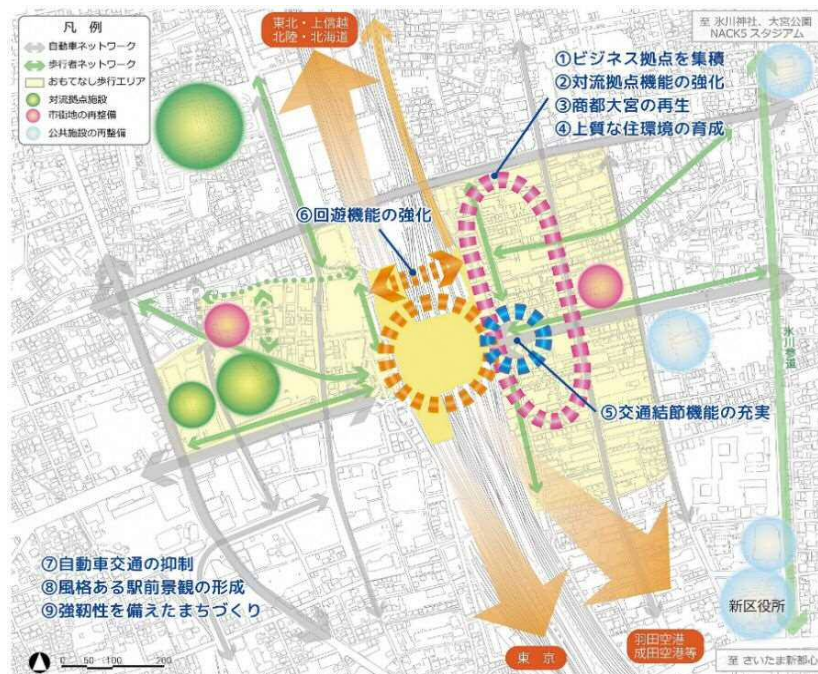
資料：首都圏広域地方計画プロジェクト参考資料

(1) 都心における都市機能の充実・強化

本市は、首都圏広域地方計画において、首都圏と東北、上信越、北陸地方及び北海道が連携・融合する対流拠点としての役割を果たすとともに、首都直下地震の発生時には首都圏の機能をバックアップするための最前線となることが位置づけられており、大宮駅周辺・さいたま新都心周辺地区等の都心を中心にそれらの拠点機能の充実・強化が求められています。

これらの都心では、既に、商業・業務機能や行政機能等が集積されていますが、今後、東日本の玄関口として、鉄道駅及び駅周辺におけるポテンシャルをより一層生かしていく必要があることから、駅機能の高度化、交通基盤整備、駅周辺のまちづくりを推進し、防災性の向上と合わせ、交通機能、商業・業務機能、交流機能、街なか居住機能など多様な都市機能の充実や、賑わいの更なる創出を図っていくことが重要となります。

大宮駅グランドセントラルステーション化構想整備方針(案)イメージ



(2) 魅力ある住環境の形成

古くから市街地が形成されてきた地域では、建物の老朽化や地域の活気・魅力の低下が懸念されています。また、新市街地形成を行いながら拠点づくりを進めている地域では、定住人口・交流人口の増加と土地活用の促進が課題となっています。

これらの課題に対し、今後も良好で魅力ある住環境を維持・形成していくためには、従来のような社会資本整備のみならず、地域の持つ様々な魅力や個性をより一層引き出すとともに、今あるストックを効果的に活用することが重要となります。

このような地域の特徴を生かしたまちづくりを推進していくため、市民、企業、大学、行政等の多様な主体がそれぞれの役割で連携し、魅力ある住環境の創造・形成に向けた認識を共有することにより、市街地の整備・改善及び施設ストックの活用を推進し、地域の価値を向上させていくことが重要となります。

(3) 安全・安心の確保

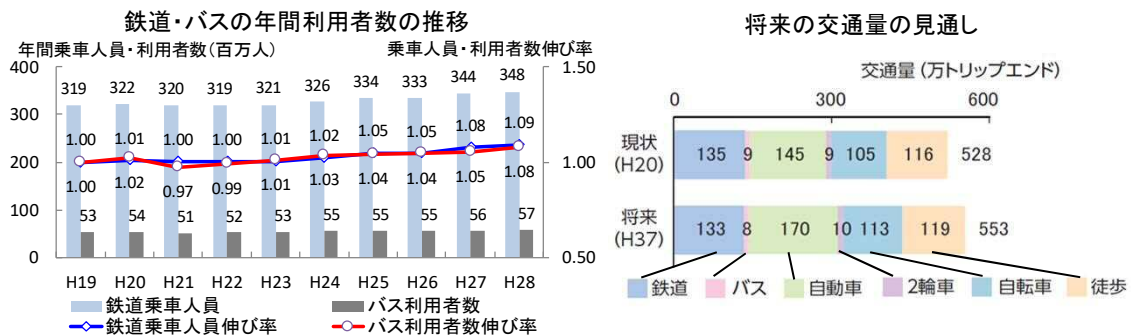
本市で想定される災害リスクのうち、地震災害における災害リスクを評価すると、リスクが重なり重点的、優先的に対応することが必要な地区の存在が確認されています。そのため、リスクを継続的に把握し、市民や事業者に分かりやすく情報発信していくとともに、災害リスクが高い地区においては地区特性に合わせた具体施策を展開していく必要があります。

また、都市全体の防災性や安全性の向上を目指して、災害に強く有効な土地利用を支える都市基盤整備を効果的・効率的に進めていく必要があることから、土地区画整理事業等の市街地開発事業を推進していくことが重要となります。

(4) 移動環境の向上

本市の鉄道・バスといった公共交通の利用者数は、年々増加を続けてきましたが、将来の交通量の見通しを見てみると、公共交通利用が減少する一方、自動車利用が増加する可能性があります。

誰もが使いやすく移動しやすい交通環境を形成していくためには、まちづくりと連携した駅周辺の交通結節機能の強化、公共交通ネットワークの充実及び身近な交通手段である自転車の利用環境の向上等を図り、過度の自動車利用を抑制しつつ、多様な交通手段を確保していくことが重要となります。



資料:さいたまSMARTプラン

(5) 「みどり」のオープンスペースの確保

本市の市街地は見沼田圃や荒川をはじめとした水とみどりに囲まれた都市構造になっており、河川やそれに沿って広がる緑地等は首都圏の環境インフラとして貴重な資産となっています。

みどりのオープンスペースは、憩いやレクリエーション、防災等、多様な機能を有しており、本市が目指す集約・ネットワーク型都市構造の実現に向けた社会資本として大変重要です。

特に、市街地の身近な「みどり」は、貴重であり、良好な住環境形成に欠かせないものであることから、都市内に残された樹林地・農地の保全・活用の取組や公園整備・機能更新により「みどり」のオープンスペースを確保するとともに、「みどり」の豊かさを実感できる取組を市民と協働で進めていくことが重要となります。

また、見沼田圃やその周辺においては、地域資源を活用しながら散策環境の向上に取り組むとともに、交流の場の創出や、市民が自然に親しみやすく広域的な防災機能も有する都市公園の整備などを進め、魅力ある空間を創出していくことが重要となります。

「見沼・さぎ山交流ひろば」の活動の様子



2. 基本方針・区分別主要事業

東日本の対流拠点として多様な都市機能の充実・強化を図るため、都心における基盤整備や駅周辺のまちづくりを推進していくとともに、魅力ある住環境の創造・形成のため、市街地の整備・改善及び既存ストックの活用を推進していきます。また、安全・安心の都市づくりのため、地区特性に応じた取組や市街地開発事業を推進するとともに、移動しやすい交通環境の形成のため、交通結節機能の強化や多様な交通手段を確保する施策を展開していく一方、みどりのオープンスペースの確保のため、樹林地・農地の保全・活用や公園整備等を推進し、魅力ある空間を創出していきます。

(1) 東日本の対流拠点都市にふさわしい都市機能の充実・強化を図るまちづくりを推進します。

*()内は一般財源

(単位:千円)

No.	区分	事業名	30年度	29年度	説明
1	総振 増 成 創	さいたま新都心にぎわい創出事業 〔都心整備課〕	178,851 (113,322)	95,949 (83,908)	さいたま新都心地区内の都市施設の適正な維持管理に加え、にぎわいづくりや地域価値をさらに高めるため、さいたま新都心まちづくり推進協議会と連携し、エリアマネジメントを推進
2	総振 成 創	さいたま新都心将来ビジョン推進事業 〔都心整備課〕	194,250 (41,026)	462,579 (70,979)	さいたま新都心将来ビジョンに掲げる目標である「広域的な安心・安全を担うまち」として、北袋町1丁目地区の取組を推進
3	総振 成	氷川参道歩行者専用化事業 〔氷川参道対策室〕	39,280 (39,280)	9,817 (9,817)	氷川参道の歩行者専用化に向けて、課題などの対応について検討するほか、交通運用の変更に伴う関連施設等の工事を実施
4	拡大 総振 成 創	大宮駅周辺地域戦略ビジョン推進事業 〔東日本交流拠点整備課〕	126,901 (119,188)	102,566 (102,566)	大宮駅周辺のターミナル街区におけるまちづくりの具体化を図るため、大宮駅グランドセントラルステーション化構想を策定し、交通基盤整備、駅周辺のまちづくり、駅機能の高度化を三位一体で推進
5	総振 成 創	市街地再開発推進事業 〔浦和駅周辺まちづくり事務所〕	108,851 (30,699)	2,250,544 (153,582)	市街地再開発事業を推進するとともに、浦和西口停車場線（県庁通り）の事業用地の取得、補償等を実施

〔区分〕新規…新規事業 拡大…拡大事業 総振…総合振興計画後期基本計画後期実施計画事業
 増…しあわせ増プラン2017事業 成…成長加速化戦略事業 創生…まち・ひと・しごと創生総合戦略事業

*()内は一般財源

(単位:千円)

No.	区分	事業名	30年度	29年度	説明
6	総振 成長	浦和駅中ノ島地下通路 整備事業 〔浦和駅周辺まちづく り事務所〕	13,156 (13,156)	515,485 (143,185)	浦和駅から西口バスターミナルへの円滑な移 動経路を確保するため、東西連絡通路と西口 中ノ島地下道とを接続する通路を整備
7	総振 成長 創生	大宮駅東口大門町2丁 目中地区第一種市街地 再開発事業 〔大宮駅東口まちづく り事務所〕	4,200,400 (298,000)	3,959,000 (196,710)	市街地再開発組合に対して補助金等を交付 し、大宮駅東口のリーディングプロジェクト である再開発事業を推進
8	総振 成長 創生	大宮駅西口まちづくり 推進事業 〔大宮駅西口まちづく り事務所〕	2,760,662 (191,271)	229,832 (124,429)	大宮駅西口の未整備地区について、狭あい道 路の解消や居住環境の向上等の課題を解決す る実現可能な基盤整備の方針を検討
9	総振 成長 創生	大宮駅西口第四土地区 画整理事業 〔大宮駅西口まちづく り事務所〕	1,466,000 (886,697)	2,255,000 (903,497)	業務・商業機能の集積及び都心地区にふさわ しい市街地形成を図るため、建物移転や区画 道路整備等の面的基盤整備を行い、土地利用 の転換を促進

(2) 風格や賑わいを創出させる魅力あるまちづくりを推進します。

*()内は一般財源

(単位:千円)

No.	区分	事業名	30年度	29年度	説明
10	総振 成長	与野本町駅周辺地区ま ちづくり事業 〔まちづくり総務課〕	11,413 (0)	7,615 (0)	「与野本町駅周辺地区まちづくりマスタープ ラン」に掲げたプロジェクトを推進するた め、中央区役所周辺の公共施設再編や与野本 町駅周辺の利便性の向上に向けた検討を実施
11	総振 成長 創生	浦和東部・岩槻南部地 域整備推進事業 〔浦和東部まちづく り事務所〕	96,779 (51,389)	32,540 (10,532)	まちのブランド力を高める都市環境の形成に 向けた河川空間活用や街並み誘導等を検討・ 検証するための都市デザイン推進業務等を実 施するとともに交通環境改善を図るための歩 道等の整備、維持管理を実施
12	総振 成長	与野本町駅周辺地区ま ちづくり事業 〔与野まちづくり事務 所〕	8,519 (0)	7,012 (7,012)	「与野本町駅周辺地区まちづくりマスタープ ラン」に位置付けられているリーディングプ ロジェクトの実現に向けて、地域が主体とな る協議会を支援し、「歴史を伝える本町通り のまちづくり」に関する取組を実施

〔区分〕新規…新規事業 拡大…拡大事業
倍増…しあわせ倍増プラン2017事業総振…総合振興計画後期基本計画後期実施計画事業
成長…成長加速化戦略事業 創生…まち・ひと・しごと創生総合戦略事業

*()内は一般財源

(単位:千円)

No.	区分	事業名	30年度	29年度	説明
13	総振 成長 創生	岩槻歴史街道事業 〔岩槻まちづくり事務 所〕	13,025 (0)	11,849 (0)	岩槻歴史街道事業に位置付けた裏小路のまちなみづくりの実現に向けて、地元協議会の運営支援及び住民等と協働でまちなみルールの運用を行い、また裏小路のみちづくりの事業化へ向けた検討を実施

(3) 災害に強い都市環境整備を効率的・効果的に推進します。

*()内は一般財源

(単位:千円)

No.	区分	事業名	30年度	29年度	説明
14	総振 成長 創生	防災都市づくり計画推 進事業 〔都市総務課〕	12,004 (8,714)	8,532 (5,692)	防災を明確に意識した都市づくりのため、災害リスクの改善・軽減に向けた施策を検討するとともに、具体施策を効果的・効率的に進める社会資本整備に関する計画等を推進
15	総振 成長	組合施行等土地区画整 理支援事業 〔区画整理支援課〕	14,642,629 (442,366)	15,372,641 (1,508,579)	土地区画整理組合に対して補助金を交付し、健全な市街地を形成
16	総振 成長 創生	西大宮駅周辺まちづく り推進事業 〔日進・指扇周辺まち づくり事務所〕	9,213 (9,213)	5,670 (5,670)	安全で安心な都市づくりの推進を図るため、指扇土地区画整理事業と併せて「地区外アクセス道路」の整備に向けた手続きを進め、関係機関協議、用地測量等を実施
17	総振 成長 創生	浦和東部第一特定土地 区画整理事業 〔浦和東部まちづくり 事務所〕	2,209,000 (799,056)	2,763,000 (637,453)	本市の副都心にふさわしい魅力ある市街地とするため、建物移転や宅地造成、都市計画道路等の基盤整備を行い、快適な住環境を形成
18	総振 成長 創生	武蔵浦和駅周辺地区ま ちづくり推進事業 〔浦和西部まちづくり 事務所〕	7,400 (7,400)	6,500 (0)	武蔵浦和駅第7-1街区及び第8-2街区のまちづくり方策を検討・整理し、地権者を対象としたまちづくり勉強会・協議会等を開催
19	総振 成長	与野駅西口土地区画整 理事業 〔与野まちづくり事務 所〕	69,958 (18,860)	62,019 (60,969)	与野駅西口周辺の商業経済の中心地であり、さいたま新都心への南の玄関口として相応しい街づくりを目指し、公共施設の整備改善を図ることにより、健全かつ良好な居住環境をもつ市街地を形成

〔区分〕新規…新規事業 拡大…拡大事業
倍増…しあわせ倍増プラン2017事業総振…総合振興計画後期基本計画後期実施計画事業
成長…成長加速化戦略事業 創生…まち・ひと・しごと創生総合戦略事業

*()内は一般財源

(単位:千円)

No.	区分	事業名	30年度	29年度	説明
20	総振 成長	南与野駅西口土地区画 整理事業 〔与野まちづくり事務 所〕	1,367,000 (380,693)	1,043,000 (393,158)	南与野駅西口周辺における土地活用促進を図 るため、公共施設の整備改善に資する取組を 実施し、安全で安心な都市基盤整備を推進
21	総振 成長 創生	岩槻駅西口土地区画整 理事業 〔岩槻まちづくり事務 所〕	414,881 (81,663)	412,145 (84,177)	岩槻駅前という立地が活かされていなかった ため、都市計画道路等の整備を行い、商業の 活性化と潤いのある住環境を形成
22	総振 成長 創生	江川土地区画整理事業 〔岩槻まちづくり事務 所〕	131,000 (130,947)	417,000 (416,947)	岩槻区中央部(東武野田線の北側)に位置す る江川地区において、土地区画整理事業によ り岩槻駅、東岩槻駅を中心とした既成市街地 と一体化した良好な市街地を形成

(4) 誰もが使いやすく移動しやすい交通環境を形成するまちづくりを推進します。

*()内は一般財源

(単位:千円)

No.	区分	事業名	30年度	29年度	説明
23	総振	都市計画道路見直し事 業 〔都市計画課〕	13,190 (13,190)	17,130 (17,130)	「さいたま市道路網計画」において類型化し た未整備の都市計画道路について、事業課や 地元等の要請により、関係権利者の合意形成 を図りながら、都市計画の変更手続に着手
24	総振 成長 創生	地域公共交通施策検討 調査 〔交通政策課〕	8,059 (8,059)	14,000 (14,000)	地域公共交通協議会において、地域公共交 通網形成計画の素案を策定するとともに、東西 交通大宮ルートにおける課題について検討
25	総振 倍増 創生	自転車政策事業 〔自転車まちづくり推 進課〕	69,597 (66,029)	61,922 (59,722)	さいたま自転車まちづくりプラン～さいたま はひと～に基づき、「人と環境にやさしい 安全で元気な自転車のまち さいたま」の実 現のための各施策を実施(自転車駐車場整備 事業を含む)
26	総振	七里駅舎改修事業 〔区画整理支援課〕	36,152 (36,152)	11,018 (11,018)	七里駅橋上駅舎化及び自由通路の整備を進 め、地域の利便性や安全性を向上

〔区分〕新規…新規事業 拡大…拡大事業
倍増…しあわせ倍増プラン2017事業総振…総合振興計画後期基本計画後期実施計画事業
成長…成長加速化戦略事業 創生…まち・ひと・しごと創生総合戦略事業

(5) さいたま市らしい豊かな自然環境の保全・活用と身近な緑の空間の創出を推進します。

* ()内は一般財源

(単位:千円)

No.	区分	事業名	30年度	29年度	説明
27	総振	(仮称)北袋1丁目防災公園整備事業 〔都市公園課〕	742,993 (82,493)	607,510 (80,110)	市民の憩い、レクリエーションの場となる身近な公園を整備するとともに、さいたま新都心の広域防災・医療拠点を補完するオープンスペースを確保
28	総振 成長 創生	(仮称)セントラルパーク整備事業 〔都市公園課〕	46,900 (46,900)	26,600 (26,600)	見沼田圃の自然・歴史・文化を次世代に引き継ぐとともに、広域的な防災拠点の整備に向けて、環境影響評価を平成28年度から平成30年度にかけて継続費で実施
29	総振 倍増 創生	身近な公園整備事業 〔都市公園課〕	508,371 (133,671)	809,057 (184,857)	都市公園の適正な配置・整備に向けて、公園が不足する地域を重点に、歩いて行ける身近な公園を整備（(仮称)北袋1丁目防災公園整備事業を除く）
30	総振 創生	指定緑地等設置・保全事業 〔みどり推進課〕	544,004 (210,800)	438,334 (192,830)	オープン型・クローズ型緑地の保全事業、緑地保全ボランティア活動の推進により、良好な自然環境を有する緑地の保全を推進
31	総振 倍増 成長 創生	見沼田圃基本計画の推進と新たな活用 〔見沼田圃政策推進室〕	48,636 (37,736)	42,920 (42,920)	「農・自然・歴史とふれあう、憩いのふるさと“みぬま”」を実現するために、見沼田圃基本計画アクションプランを着実に推進するとともに、活用につながる取組の充実と情報発信力を強化

〔区分〕新規…新規事業 拡大…拡大事業
倍増…しあわせ倍増プラン2017事業

総振…総合振興計画後期基本計画後期実施計画事業
成長…成長加速化戦略事業 創生…まち・ひと・しごと創生総合戦略事業

3. 見直し事業一覧

(単位：千円)

課名	見直し事業名	見直しの理由及び内容 (代替事業等があれば記載)	コスト 削減額
自転車まちづくり 推進課	印刷製本費の見直し	放置自転車台数が減少傾向にあるため、印刷部数を削減する。	△ 364
自転車まちづくり 推進課	償還金の見直し	過去の実績から必要な金額を精査し、予算額を縮小する。	△ 60
市街地整備課	研修会参加人数の見直し	研修会の内容の精査により、研修会への参加人数を見直し、予算額を縮小する。	△ 10
市街地整備課	旅費の見直し	旅行回数の精査により、予算額を縮小する。	△ 51
日進・指扇周辺 まちづくり事務所	燃料費の見直し	過去の実績を踏まえ、燃料費を縮小する。	△ 9
日進・指扇周辺 まちづくり事務所	消耗品費の見直し	消耗品の精査により、消耗品費を縮小する。	△ 27
都心整備課	消耗品費の見直し	課内で使用する消耗品の内容を精査し、消耗品費を縮小する。	△ 30
都心整備課	消耗品費の見直し	ふれあいプラザで使用する消耗品の内容を精査し、消耗品費を縮小する。	△ 40
大宮駅西口まち づくり事務所	印刷用紙代の見直し	文書の電子化を進めたため、印刷用紙代を縮小する。	△ 28
大宮駅西口まち づくり事務所	電話通話料の見直し	過去の実績を踏まえ、電話通話料を縮小する。	△ 39
大宮駅西口まち づくり事務所	コピー使用料の見直し	過去の実績を踏まえ、コピー使用料を縮小する。	△ 60
みどり推進課	ハンギングバスケット講習会 (サイクルフェスタ会場の装 飾)の見直し	費用対効果の観点から、地元商業施設との協働によるさいたま 新都心駅での緑化事業に一本化することで、予算額を縮小す る。	△ 781
見沼田圃政策 推進室	消耗品費の見直し	購入内容を精査し、消耗品費を縮小する。	△ 103
東浦和まちづくり 事務所	印刷製本費の見直し	まちづくりだよりの発行時期を変更することにより、発行回数を2回 から1回にすることで、予算額を削減する。	△ 150
日進・指扇周辺 まちづくり事務所	通信運搬費の見直し	過去の実績を踏まえ、通信運搬費を縮小する。	△ 60
岩槻まちづくり事 務所	研修会参加人数の見直し	研修会の内容を精査し、研修会への参加人数を見直したことに より、予算を減額する。	△ 22